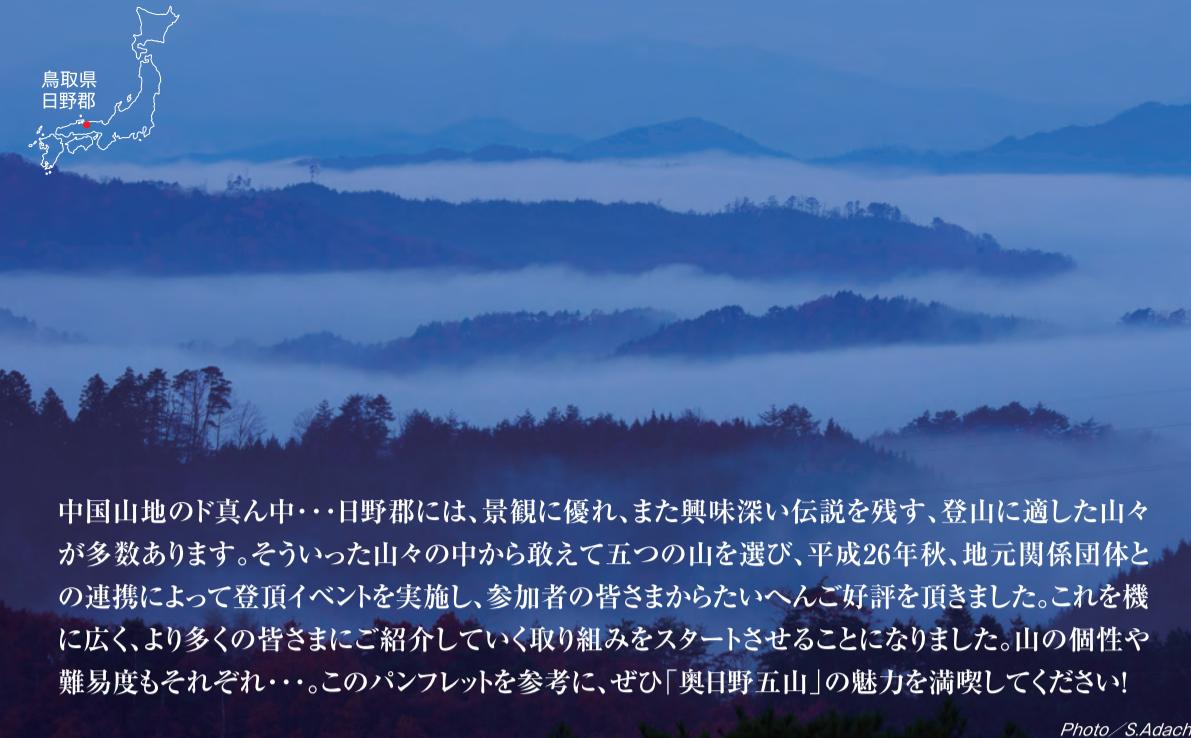


# 奥日野五山

Five wonderful mountains  
in the heart of Hino County ("Oku-Hino")

## 山行ガイド&マップ



中国山地のド真ん中…日野郡には、景観に優れ、また興味深い伝説を残す、登山に適した山々が多数あります。そういった山々の中から敢えて五つの山を選び、平成26年秋、地元関係団体との連携によって登頂イベントを実施し、参加者の皆さまからたいへんご好評を頂きました。これを機に広く、より多くの皆さまにご紹介していく取り組みをスタートさせることになりました。山の個性や難易度もそれぞれ…。このパンフレットを参考に、ぜひ「奥日野五山」の魅力を満喫してください!

Photo/S.Adachi

### 奥日野は遠くて近い?!

米子から車でわずか1時間前後。

●根雨まで約50分、生山まで約60分



### 御墓山～猿隱山

登山口・日南町下阿毘縁低波  
■行程／約6km(大菅峰～砥波峰) ■標高差／約230m ■所要時間／3時間

◆標高／817m(猿隱山)



#### 歴史・伝承

国土創世の女神、イザナミノミコトが葬られた山として伝えられる山のひとつ、御墓山。イザナミが亡くなる原因となった火の神・迦具土の血から生まれた「八神」ゆかりの地として「八石谷」という地名も現存。また、迦具土の屍から生まれた神、闇山祇命(クラヤマツミノミコト)が上阿毘縁神社の祭神として祀られ、近くの熊野神社には御墓山から移されたイザナミノミコトが祭神として祀られるなど、古事記に深い関わりがある土地柄である。

#### 【登山ルート】

御墓山にあがる大菅峰、猿隱山にあがる砥波峰までの間、鳥取県と島根県の県境を尾根づたいに約6kmを歩くコース。山自体は標高800m前後と、どちらか言えば低山の部類にはいるが、起伏に富んでいて面白い。尾根筋からは比田、松江方面が一望でき、また日南町の多里・石見方面も眺めることができる。またこの一帯は、かつて「たらら」の大生産地であり、木炭の原料となる橡や楢などの木々も多い。

砥波峰から猿隱山へのルートは急登だが、途中2か所からの登・下山コースもあり、時間・天候次第でルートの選択ができるのは好都合だ。近年、地元「阿毘縁むらづくり協議会」が低木、ケマザサの除去、ルート整備に尽力され、知名度はまだまだ低いが、今後気軽に楽しめる尾根歩きコースとして有望。



問合せ先 阿毘縁むらづくり協議会 Tel&Fax/0859-87-0416

#### 【登山ルート】

島根県横田側からも登山ルートがあるが、日南町上萩山からの登山道もよく整備され、迷う心配はない。登山口からは渓流にそって高度を稼ぎ、健脚コースを登ると樹林帯はわずかでごつごつした岩場のルートが続く。一般コースは樹林帯のつづら坂となっていて、上りと下り、別々のルートが選べるのも魅力。山頂付近には樹齢約千年、国の天然記念物で世界最大の「イチイの木」を間近にみることもできる。

山頂に立つと360度の展望が開け、眼下には神話の郷、伯耆・出雲が広がり、北には島根半島が横たわり、西南には三瓶山がそびえ、道後山から花見山、蒜山方向から大山へと遠望が楽しめる。



### 「八岐大蛇神話」とイチイの巨樹で知られる 船通山

登山口・日南町多里上萩山  
■行程／約1.5km(往復) ■標高差／約445m  
■所要時間／2.5時間



#### 歴史・伝承

古来より「島上(髪)山」あるいは「島上(髪)峰」とも呼ばれ、「古事記」によれば、高天原から降臨したスサノオノミコトが八岐大蛇を退治し、大蛇の尾から得た天叢雲剣を天照大神に献上したとされる。それに因んだ「天叢雲剣出頭之地」の碑が山頂に建ち、毎年7月28日には宣揚祭が執り行われる。山頂付近はカタクリの自生地としても知られ、四季を通じて賑わっている。



問合せ先 多里まちづくり協議会 Tel&Fax/0859-84-0151



### 【歴史・伝承】

南部町の赤猪神社で復活した大国主命は、嫉妬深い腹違いの兄・八十神命から逃れるために、この山に隠れたが、再度謀られ落命。しかし母神の助けにより二度目の復活を果たしたといい伝えられる。また、麓から大倉山の手前のピークに見える大岩は、孝靈天皇に退治された牛鬼の住处であったことから「牛鬼山」とも呼ばれ、御神体が降臨したこの岩が見えることから「石見」という地名になったとも。かつては地元の小学校の遠足コースであり、毎年「卒業記念登山」を行い、氏名を記した板を山頂に置いて帰るのが習わしだったという。

### 【登山ルート】

独立峰の佇まいを見せる大倉山。石見東太陽光発電所横に車を置いて林道を歩くのが一般的だが、林道の標識に従って500mほど上がり、林道脇に駐車することも可能である。登山ルートには地元「日南町登山愛好会」の手で赤テープの標示がされており、道に迷う心配はないが、足元は歩行を妨げる低木が繁茂し、背を低くし、むやみにブッシュに突っ込みます、踏み跡を確認しながら進むことが求められる。



◆大倉山山頂  
【周辺スポット】  
花見山の麓には宿泊施設「日南邑」があり、食事をとることはもちろん、200円で入浴できることも嬉しい。登頂した「大倉山」の雄姿を反対側から眺めるのも一興である。



◆左手に花見山

問合せ先 ■ 石見まちづくり協議会 Tel&Fax/0859-83-0711



### 【根雨のまち散策】

下山して余裕があれば、根雨のまちの散策を楽しんだり、国登録有形文化財でもある日野町歴史民俗資料館や、「たたらの楽校」などを訪ねて見るもよい。空腹には、そば道場「たたらや」での「手打ちそば」がおすすめ。

- ◆日野町歴史民俗資料館 要予約(日野町教育委員会 Tel/0859-72-2107)
- ◆たたらの楽校 4月~11月/土・日・祭日に開校 10:00~16:00
- ◆そば道場「たたらや」 11:00~13:30(オーターストップ) 水曜日定休 TEL/0859-72-2261

### 【登山ルート】

12年前に大山隠岐国立公園に編入され、宝と仏、このいかにも御利益がありそうな名前にも惹かれる。登山口から谷筋に沿って登り始め、針葉樹林の中を歩いて、途中、小平(こなる)・大平と呼ばれる、かつて畑地や放牧地であった緩い斜面に出る。ただし標高600m付近で微妙に樹林の間から対岸の舟場から伯耆町二部に至るあたりが垣間見えるだけで、山行は木立の中を黙々と歩くことを要求され、やがてブナの原生林や杉林、クヌギなどが繁る急斜面の広葉樹帯へ…。8合目(900m)からはまた緩やかになり、左手の樹間から大山が見え隠れする。その標高差800mは大山登山をしのぐ程で、多少健脚が求められる。

頂上には立派な山頂碑が立ち、360度の展望とはいかないまでも、毛無山が間にそびえ、大山も優雅な山容を現す。



◆ブナの巨樹



### 開けた視界、カタクリの花に癒される

登山口 ● 江府町保野 (中国電力サージタンク横)  
■ 行程 / 約5km(往復) ■ 標高差 / 約490m  
■ 所要時間 / 2.5時間

◆標高 / 1,218m



◆大型連休の頃、カタクリの花が咲く

### 【登山ルート】

鳥取県側登山口となっているサージタンクは、保野川ダム沿いの道路からも確認でき、そこまで約5kmの林道を行く。登山道は地元「白馬の会」会員の手で整備されており、ミズナラやブナの林の中を登っていくと、3合目を過ぎたあたりから、背後には大山、左前方には蒜山三座を臨むことができる。4合目の展望台からは、眼下に米子方面を一望。8合目を過ぎると「カタクリ」の群生地があり、そこから頂上へは尾根筋を行く平たんなルートとなっていて、大山はもちろん、米子市街、境港市、島根半島を見渡すことができる。毛無山山頂からは、白馬山～朝鍋鷲ヶ山～三平山といった千メートル級の山並みの縦走も可能。岡山県新庄村からもアプローチできる。



### 【見どころ】

美しいブナ林をはじめ、ウスイロヒヨウモモンヨキなどの重要生物が多数生息し、ゆたかな自然環境を残すことから、2002年に大山隠岐国立公園に編入された毛無山一帯。毎年4月29日に山開きが行われ、カタクリの花の開花期でもあり、県内外から多くの登山者が訪れる。



問合せ先 ■ 江府町奥大山まちづくり推進課 Tel/0859-75-3222



### 奥日野の山々 (番外編)

### 金ヶ谷山

登山口 ● 江府町保野 中国電力サージタンク横  
■ 所要時間 / 7時間

◆標高 / 1,164m

8合目までは毛無山ルートと全く同じで、8合目の分岐点から道標に従って白馬山方向への尾根道を下りると、約30分で白馬山に着く。さらに朝鍋鷲ヶ山方向に進むと、保野越えの鞍部からはクマザサの茂った急坂が続く。急坂を登りきるとブナが茂ったなだらかな尾根道となり、金ヶ谷山山頂に着く。保野越えからは岡山県側の土用ダム湖の水面が展望できる。



登山口 ● 間地トンネル入り口手前  
■ 所要時間 / 1時間50分

◆標高 / 767m

「こうやま」とも呼ばれる。根雨から二部へと抜ける県道35号線の間地トンネル手前から、右手の林道へ、200mほど行くと左手に「旧出雲街道間地峠」への案内板が設置されているが、山頂へは林道を直進する。道は簡易舗装されているが、勾配はきつくなり、侮りがたいルートである。急な林道を登りきると東側の視界が開け、大山・毛無山・宝仏山が一望できる。

◆山頂から望む大山



登山口 ● 花見山スキー場管理道の終点  
■ 所要時間 / 1時間15分

◆標高 / 1,188m

春はスイセン、秋にはマツムシソウなどを楽しむことができる花見山。管理道終点の駐車場からスキー場の草斜面を行くと「花見山探勝歩道入口」の道標がある。楓・ブナ・楓の雑木林の中のなだらかな尾根道が続く。岡山県新見市との県境の歩道となり、灌木の中を進み、丸太の階段を登れば山頂に着く。山頂からは展望がよく、大山を望むことができる。



登山口 ● 日南町生山から県道8号、奥日野広域農道と進み、鬼林山林道との合流点に駐車する。

■ 所要時間 / 往復2時間15分

◆標高 / 1,031m

山頂まで舗装された林道があるが、登山口脇に駐車して歩く。途中に小さな資材小屋がある。この小屋がコースの中間点に位置すること知つておけば何かに役に立つだろう。初心者への励ましになることもある。杉・松の林を過ぎ、コナラならや楓の雑木林を過ぎると斜面に巨石が点在し、急坂を登れば山頂である。山頂には無線中継基地が建設されているが、中国山地が一望できる。

◆三国峠から見える鬼林山

